

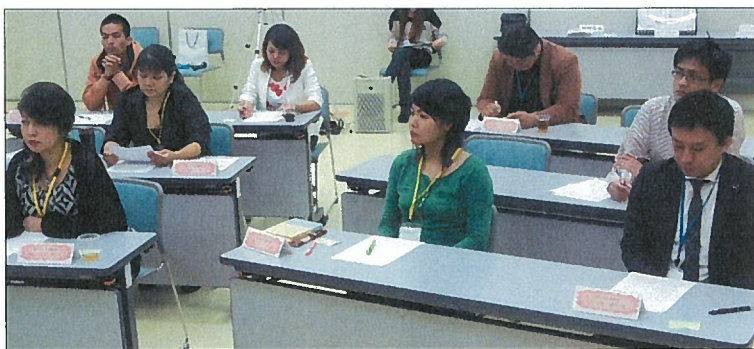
島マスの人生と福祉

20期新報

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
TEL.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



名嘉塾長講義



●島マス先生の生い立ちを知り、教育の大切さを改めて知りました。人を信頼する土台、自分の役割を、まず自分として知ることだと思いました。(ちひろ)

●今日で最後の講義。塾長ありがとうございました。皆さんお疲れさまでした。有意義な一年でした。(ゆうこお)

●マス先生の生涯を振り返って、改めてマス先生のすごさを感じ、塾生として人間的に成長し、社会貢献していかなければいけないと感じました。一年を通して多

くのことを学べました。ありがとうございます。(篤)

●この一年を通してマス塾に在籍できたことはすごく大きいです。皆さんとの出会いに感謝しています。(知念直樹)

●島マス先生の人間力やユーモアの精神を現代の社会で養いたいです。自分で探して、また生み出せたらマス先生に近づけるかなあ。近づけなくても精進したいと思えます。(荻堂)

●「教育のベースが表現になっている」というお話が印象深かったです。受身のスタイルで学ぶのではなく、自己表現を通して深めていっているのかなと思います。子ども向けのワークショップを企画することがあるので、参考にしたいと思えます。(真由美)

●「芯がしっかりしている」とはどういうことか？ ↓ ①人を信頼できる能力 ②自分の役割を理解できる能力 ③ユーモア！母親が笑顔で子供を見ることが大切さを感じました。(夏美)

●人格形成と人間性はすごく大事だと思いました。(龍一)

●最後の講義に再度、島マス先生の哲学を学ぶことができ良かったです。今一番自分の中で恐いことは、講義の中で学んだことをいつか忘れてしまわないかということなんです。卒業後は、子供たちを連れて「コザ物語」を見に行ったり、20期生と飲みみにケーションを図ったりと、工夫しなくては...と考えています。(彰吾)

●20期最後の講義にふさわしい内容でした。勿論、講義時間はあつと言う間に過ぎていきました。中塾長の優しい語りで島マスさんの生き様を聞き島マス塾の意味がわかったような。さて私には何ができるかな。(良子)



二十期生よ永遠なれ!

二十期生新報最終号は
二十期生会長の話!



島マス
記念塾
20期
生の会
長を務め
させていた
だきました内間紳元です。

私が島マス記念塾20年の節目に当たる年に会長を務めることができたのは、一重に素晴らしい仲間たちに支えられたからだと思えます。講義後の飲みニケーションにはじまり、台風の影響で1日だけになった福祉まつりや夏季・秋季のキャンプセミナーやフィールドワーク、大いに盛り上がったデイベートなど個性的で活動的、過去に例を見ないパワーの20期生の猛者をまとめることは並大抵ではありませんでした。同時に頼もしいメンバー達でもあり団結して無事、卒塾を迎えることができました。

島マス 多くの人に支えられ長いようでも短かく駆け抜けた1年間でしたがマス塾に参加し得た経験や友との絆は今後も人生を豊かにしてくれると信じています。

多くの分野から幅広い内容の講師陣の皆様には、各講義を通じて物や社会の見方を多角的にみる視野を広げていただき感謝の気持ちでいっぱいです。講師の皆様から学んだことは今後の私たちに有意義な糧となつたと思います。

島マス記念塾20期生の絆は今後も続いていくと思えますがこのメンバーの力があればきっと大きな何かを実現できると確信しています。何ができるかは今はまだ判りませんが10年、20年と続くような絆にしていきたいと思えます。この1年間、本当にありがとうございました。



20期生の思い出のスナップ写真特集